

ジキル&ハイドマフラーといえば、政府認証済みで合法的に使えるのはもちろん、音量が変えられるという特徴がある。ブースでは、実際にどれぐらい音量が変わるのかを実演。明らかに違うサウンドに、初めてこのマフラーの音を聞いた人は皆、驚きを隠せない様子だった



可変マフラーの音量体感は大盛況!

ニューモデル試乗会ではトライジャの車両が使われた



トライジャが開発した専用パーツ満載のパンアメリカ。ハンドルやシートなど、乗りやすさが工夫されているほか、クラッシュガードやナックルガードといったオフロードならではのパーツ、さらにジキル&ハイドのマフラーを装着している



試乗会ではノーマル車両に混じり、トライジャの製作したカスタム車両が2台、試乗車として提供された。こちらのナイトスターは、オリジナルのハンドル、オーリンズのサスペンション、そしてジキル&ハイドマフラーを装着した一台



タレントの平嶋夏海さんがジキル&ハイドマフラー装着車に試乗!

試乗会でトライジャのナイトスターで走る女性を発見! と思ったらバイク好きでも知られてるタレントの平嶋夏海さん! 乗った後に話を聞いてみると、「とっても乗りやすかったです」とかなりの好印象!



今回のブルスカでは、富士スピードウェイの本コースを使った試乗会が行われた。大好評のため、すぐに満員となってしまったが、ニューモデルに興味津々のハーレー乗りたちは、なかなか貴重なチャンスを堪能しているようだった



お悩み解決!

大阪府柏原市にショップを構えるトライジャは、独自のカスタムのほか、カスタムパーツの開発にも力を入れている

# TRIJYAのモノ造り道場

特別編



TRIJYA HP



instagram



YouTube



Facebook

トライジャは8月26日、27日に開催されたブルスカイヘブンにジキル&ハイドマフラーのブースを出店。これってけっこうスゴイコトなんです!

text/T.Numao 沼尾哲平 photo/Y.Higuchi 樋口勇一郎  
問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 <https://trijya.com/>



今回のお題

ジキル&ハイドマフラーがブルスカに出展された意味とは……?

ハーレーとジキル&ハイドのイイ関係

昨年引き続き、トライジャは8月26日、27日に行われたブルスカイヘブンにジキル&ハイドエキゾーストの日本総代理店として出店した。実はコレ、けっこうスゴイことなのだ。

ブルスカはハーレーダビッドソンジャパンが主催するイベントであるため、マフラー交換などディーラーではできない作業が必要なパーツの販売ができなかった。しかし、世界基準に沿って製作されたJMC Aの認証も取得しているジキル&ハイドマフラーは、ディーラーでも取り付けが可能。そのため、ブルスカでも問題なく販売ができるというわけだ。

さらに今回は、ハーレーダビッドソンジャパンからの要請があり、トライジャからパンアメリカとナイトスターを試乗車として提供。サーキットで行われる試乗会にジキル&ハイドマフラーを取り付けた車両が使われていた。

今までこれほどまでにハーレーがマフラーメーカーに歩み寄ったことはおそらくない。こうした背景には、合法的に取り付けられることから、現在日本国内の多くのディーラーで販売していることがあるだろう。こうしたメーカー同士の歩み寄り、ユーズーにとっても大きなメリットがある。今後もより密接な関係になっていくことを予感させる。